

製品名: C3 (4X12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07744**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	187kDa

抗原情報

遺伝子名	C3
別名	AHUS5; ARMD9; ASP; Complement C3; Complement factor 3; CPAMD1; HEL S 62p;
遺伝子 ID	718.0
SwissProt ID	P01024
免疫原	ヒト C3 の合成ペプチド

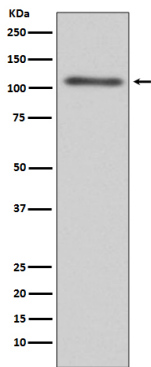
背景

補体系の活性化において中心的な役割を果たす。C3 転換酵素によるプロセッシングは、補体古典経路および補体代替経路の両方において中心的な反応である。活性化後、C3b は反応性チオエステルを介して細胞表面の炭水化物または免疫凝集体と共有結合することができる。C3 は補体系の活性化において中心的な役割を果たす。C3 転換酵素によるプロセッシングは、補体古典経路および補体代替経路の両方において中心的な反応である。活性化後、C3b は反応性チオエステルを介して細胞表面の炭水化物または免疫凝集体と共有結合することができる。[C3-beta-c]: 慢性炎症において好中球の走化性因子として作用する。

研究分野

免疫学

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の C3 発現のウェスタン プロット分析。